

2007 年度

科目名 教科教育法特論	対象学科・学年 教育教職 3 回生	担当者 伊藤 裕規
授業テーマ 小学校教科の目標について理解し、新しい学力観に立脚した教科教育の指導のあり方、教材を考える。		
授業の概要と目標 子どもが楽しみながら論理的に考える力を身につけ、自ら考え楽しく取り組めるような教材・授業内容について考え、指導方法および評価方法について研究する。基礎的・基本的知識が小学校教材に存在することを学び、必要な実践適応能力の基礎を養う。		
評価方法 出席（講義中の課題の提出も評価に加える）・レポート・発表・学習ノート等で評価する。		
テキスト 各講義中に配布するプリント	著者	出版社
参考書 個に応じた指導に関する指導資料（小学校算数編） —発展的な学習や補的な学習の推進— 同上（小学校理科編）	著者 文部科学省 文部科学省	出版社 教育出版株式会社 教育出版株式会社
授業スケジュール・内容 1. 文化社会と数学の発展 反数学に学ぶ 2. 人間社会と数学 民族と数字 3. 授業の企画と展開 4. 導入と支援 5. 学習シートと習熟度別指導 6. 指導と評価と援助 7. 授業の企画と展開（1） 8. 授業の企画と展開（2） 9. 授業の企画と展開（3） 10. 授業の企画と展開（4） 11. 授業の企画と展開（5） 12. 補的な学習（1） 補的な学習（2） 13. 発展的な学習 14. 問題解決学習の活用 15. 評価法 農耕や税、通商、建築 反数学の意味とパラドクスな考え 社会史と数学の変遷 象形文字、楔形文字、0の考え 授業の企画と展開について考える 授業の導入と支援、子どもに解らせることの考察 学習シートの工夫と習熟度別授業の指導 指導と評価と援助の一体化指導案の実際 低学年の教科書に準拠し、決まりや法則を発見し、論理的に考える力を身につけるように、子どもが自ら楽しみながら、学習意欲を高められるような教材の研究と指導法の考察をする 中学年の教科書に準拠し、決まりや法則を発見し、論理的に考える力を身につけるように、子どもが自ら楽しみながら、学習意欲を高められるような教材の研究と指導法の考察をする 中学年の教科書に準拠し、決まりや法則を発見し、論理的に考える力を身につけるように、子どもが自ら楽しみながら、学習意欲を高められるような教材の研究と指導法の考察をする 高学年の教科書に準拠し、決まりや法則を発見し、論理的に考える力を身につけるように、子どもが自ら楽しみながら、学習意欲を高められるような教材の研究と指導法の考察をする 高学年の教科書に準拠し、決まりや法則を発見し、論理的に考える力を身につけるように、子どもが自ら楽しみながら、学習意欲を高められるような教材の研究と指導法の考察をする 補的な学習の意義と学習の内容 補的な学習の進め方と学習の課題 発展的な学習の意義と学習内容、学習の進め方と課題 実際例での考察 評価の機能と役割—何のために評価するのか、何を評価するのか— 評価の基本的な考えと進め方—どのように評価するのか—		